【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【公開番号】特開2000-271076(P2000-271076A)
【公開日】平成12年10月3日(2000.10.3)
【出願番号】特願平11-78286
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　23/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３１０Ｈ
Ｇ０２Ｂ　23/24　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年3月22日(2006.3.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
挿入部の先端部に弾性管状体が配置され、前記弾性管状体の管壁に周方向に沿って複数の加圧室を配置し、前記加圧室を選択的に加圧することで上記弾性管状体を所定の向きに湾曲させる湾曲部を有し、
前記加圧室に加圧流体を供給する流体供給管路に接続されたシリンジと、前記シリンジの内部をスライド可能なピストンとからなる流体供給部を備えた内視鏡装置において、
前記流体供給部の前記ピストンを電動で動作する駆動手段と、
前記駆動手段を制御する制御手段と、
を設けるとともに、
前記制御手段に、前記湾曲部の湾曲動作を止める指示の入力時に前記シリンジに対する前記ピストンのスライド動作を止め、かつ前記ピストンのスライド動作方向を反転させてスライドさせる湾曲動作停止制御機能を設けたことを特徴とする内視鏡装置。
【請求項２】
前記制御手段と接続され、前記湾曲部を湾曲させる操作をおこなう入力手段を設け、
前記入力手段を操作し、前記入力手段の傾ける角度と傾ける速度に応じて前記ピストンを制御することを特徴とする請求項１に記載の内視鏡装置。
【請求項３】
前記制御手段は、前記傾ける角度と前記傾ける速度に応じた出力を駆動周波数で設定したことを特徴とする請求項２に記載の内視鏡装置。
【請求項４】
前記制御手段は、前記傾ける角度と前記傾ける速度に応じた出力を電圧で設定したことを特徴とする請求項２に記載の内視鏡装置。
【請求項５】
前記ピストンの速度は、湾曲増加時と湾曲減少時の速度を略同一、もしくは前記湾曲減少時の速度を遅く設定することを特徴とする請求項１に記載の内視鏡装置。